

# 高齢者を支える地域づくり

大分県竹田市

## H27. 3月末市民課人口集計から

|      |         |          |       |
|------|---------|----------|-------|
| 人口   |         | 23,570人  |       |
| 世帯数  |         | 10,527世帯 |       |
| 高齢化率 | 65歳以上   | 10,067人  | 42.7% |
|      | 75歳以上   | 6,189人   | 26.3% |
| 出生数  | (平成25年) | 124人     |       |

## H27. 3月末事業状況報告から

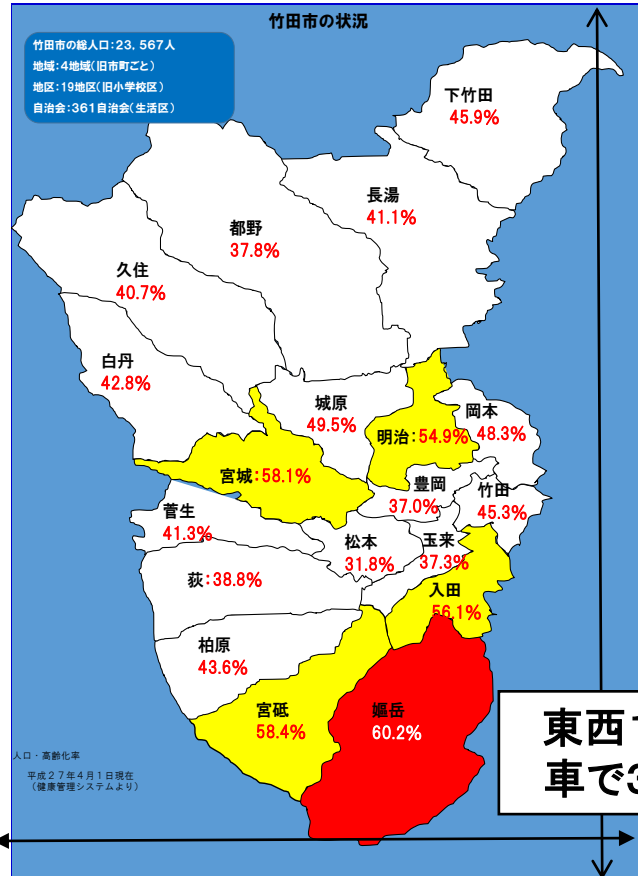
|            |           |             |
|------------|-----------|-------------|
| 介護保険料基準月額  | 5,500円    | (伸び率なし)     |
| 介護認定者数     | 2,147人    | 21.3%       |
| 1号要支援認定者数  | 754人      | (認定者の35.1%) |
| 新規認定者数     | 584人      | (認定者の27.2%) |
| 地域包括支援センター | 1箇所(社協委託) |             |

## 事業実施状況

|           |                        |
|-----------|------------------------|
| 平成24~25年度 | 厚労省介護予防強化推進事業(モデル事業)実施 |
| 平成26年度    | 旧総合事業実施                |
| 平成27年4月~  | 新総合事業、包括的支援事業(充実分)事業実施 |



南北35km  
車で65分

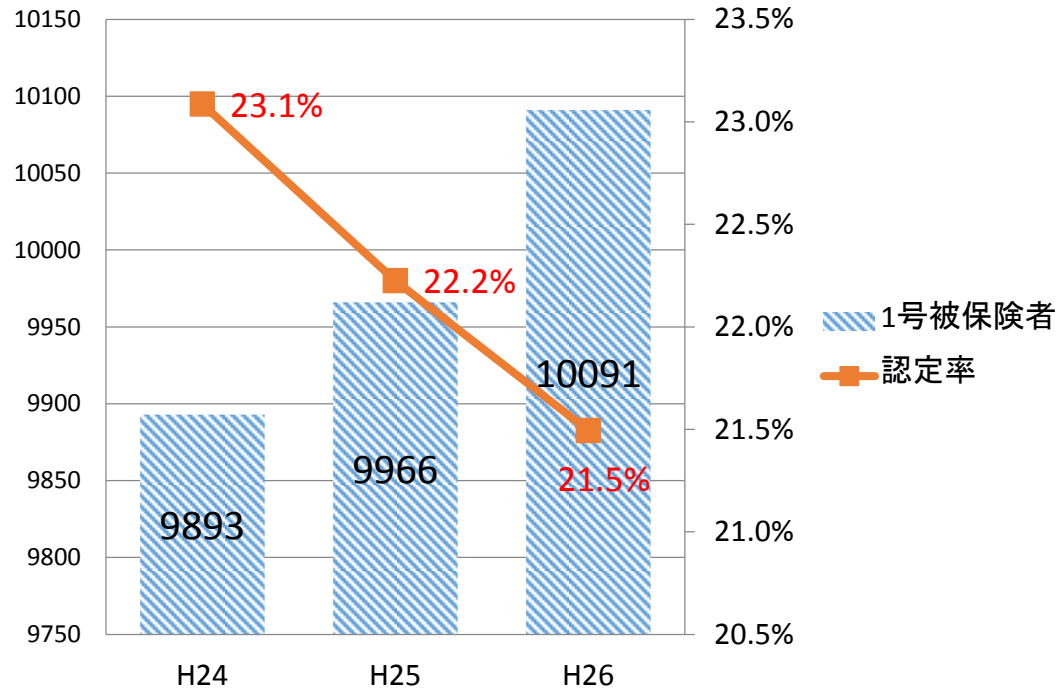


東西17km  
車で30分



# 竹田市の介護認定状況(事業状況報告から)

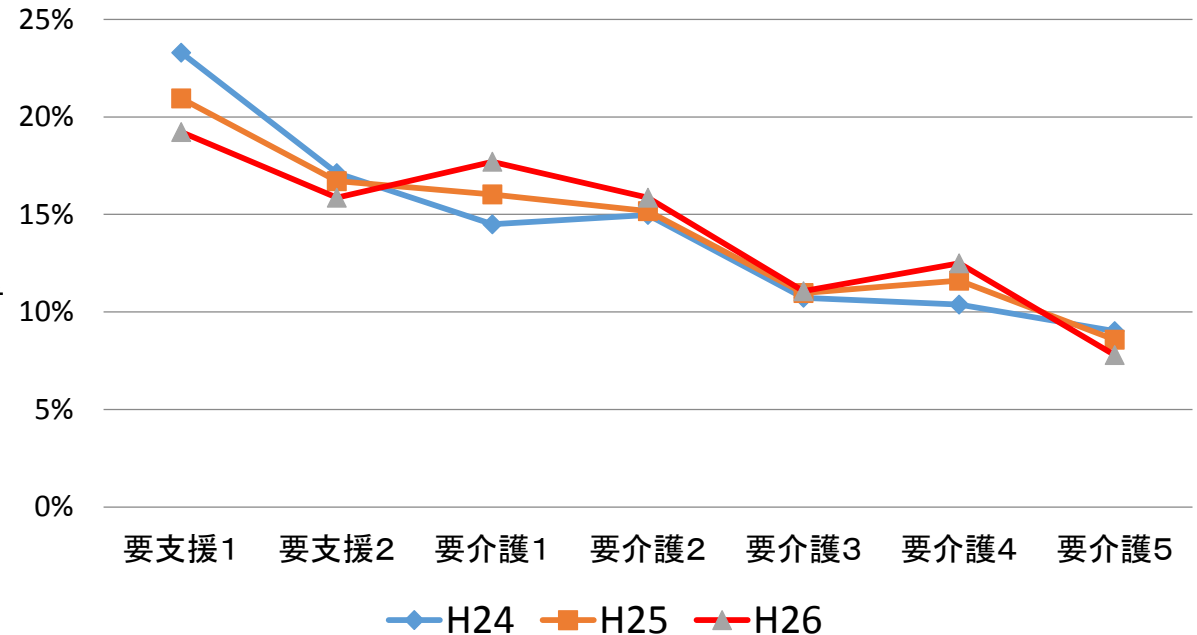
## 1号被保険者と認定率の推移



(住所地特例者等を含む)

1号被保険者(65歳以上の高齢者)は増加しているが、認定率は下がってきている。今後は高齢者の伸びが横ばいもしくは減少傾向となる。

## 要介護度別認定率の推移



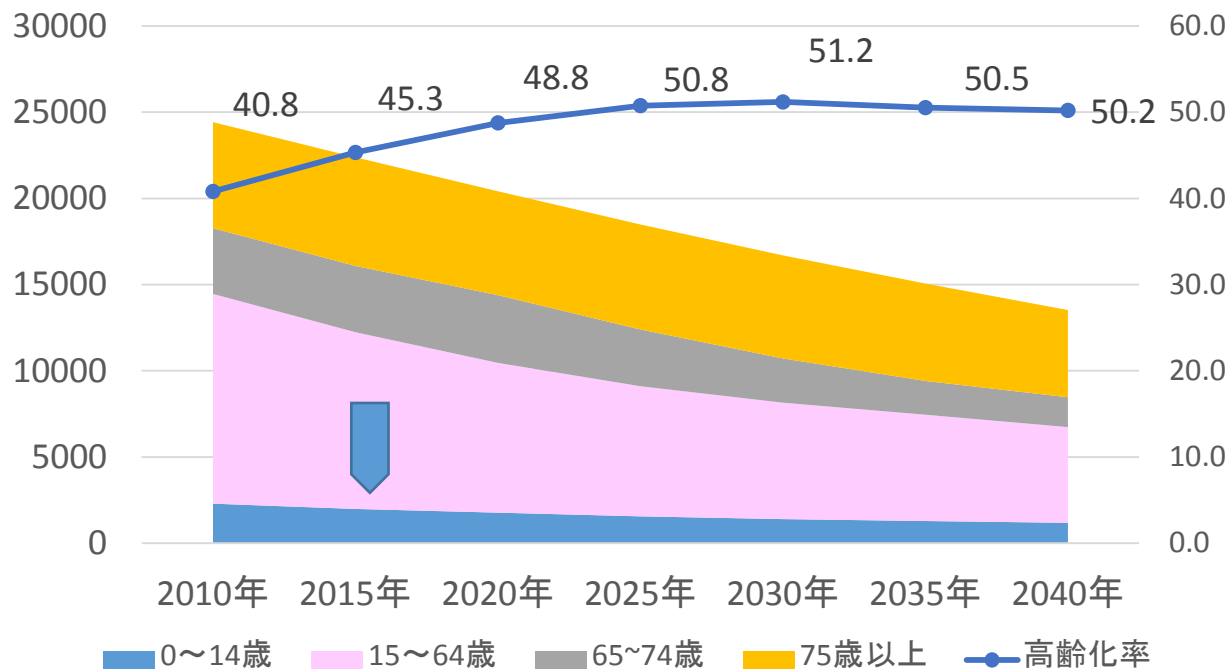
### ・地域ケア会議の実施

→要支援者を対象に地域ケア会議開催による自立支援型ケアマネジメントの推進や、介護予防事業を推進している。今後も引き続き取り組みを強化していくことが重要である。

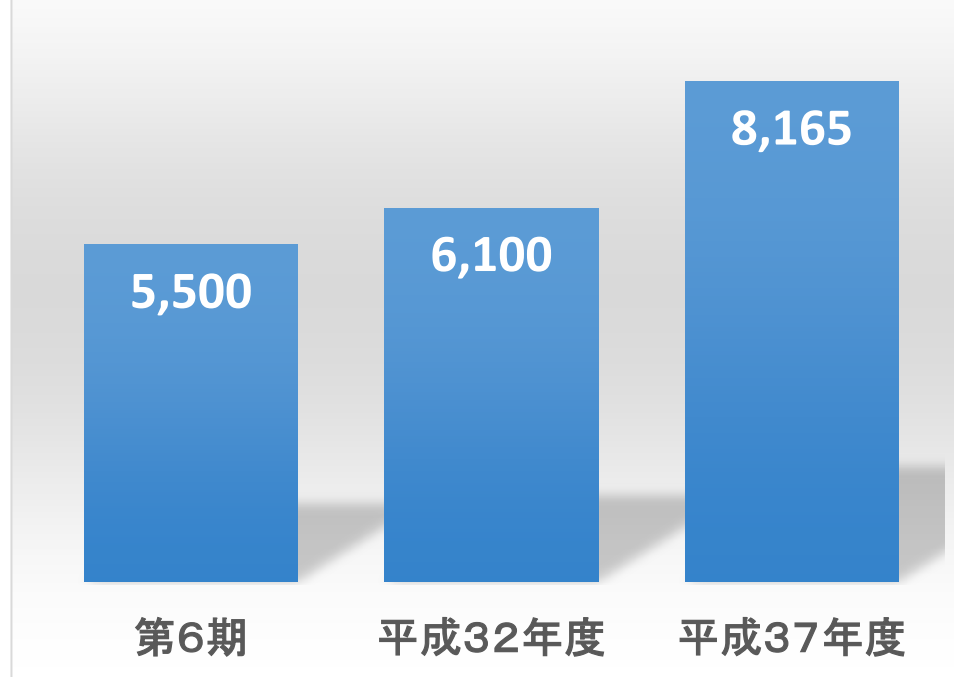
### ・要介護1の増加

→65歳以上高齢者のうち、認知症高齢者が増加傾向にあると思われる。

## 人口構成と高齢化率の推移



## 保険料(月額)の見通し



高齢者を支える15歳から64歳の生産年齢層は減少していく。

2040年には、

生産年齢人口 5,558人で  
65歳以上 6,791人を  
1人当たり高齢者1.22人の  
高齢者を支えることとなる。



## 支え合う暮らし

### 生活支援体制整備事業の実施

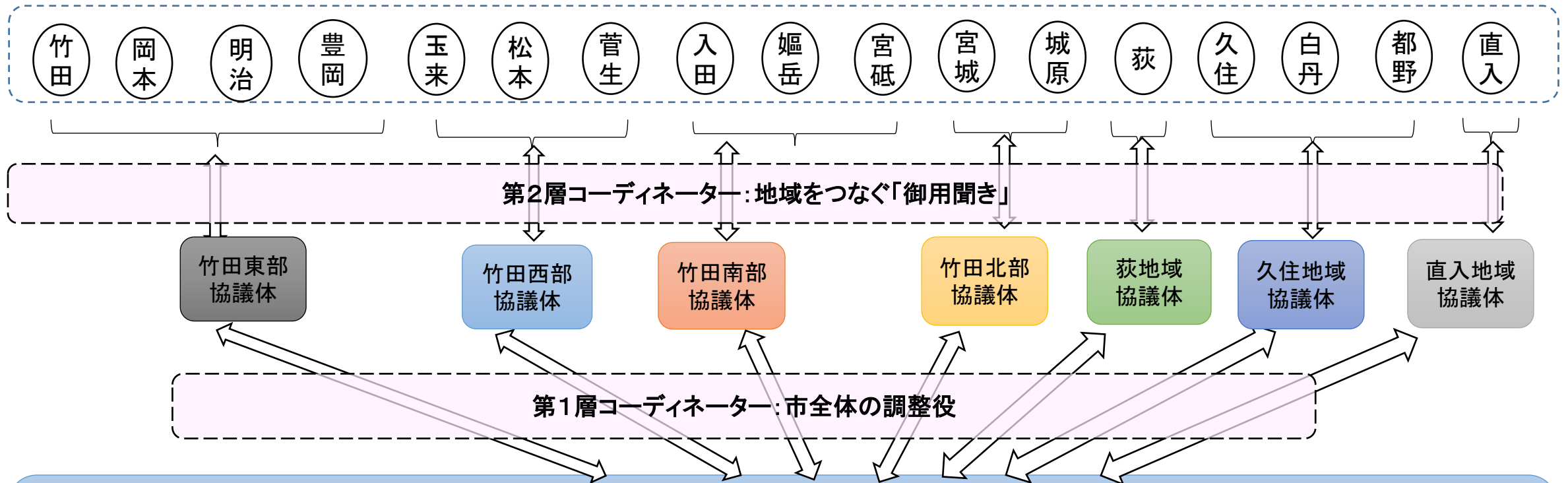
- ・協議の場の開催(庁内外の関係者、地域)
- ・コーディネーターの配置(包括やサポートセンター)

# 官民協働の地域づくり

## 協議体と地区社協との関係

- ・17地区社協(小学校区単位)を核とした地域づくり
- ・地区社協では、地域行事や日々の見守り、敬老会、配食など地域に密着した活動を展開
- ・「こういう地域になったらいいな」という「目指す地域像」をみんなで共有
- ・地域単独では解決できない、より広い範囲での課題や、生活支援に関する困りごとへの対応策、地域に必要な活動、団体をどうやってつないでいくか等を第2層で協議していく

地区ごとに「よっちはなそう会」を実施 (地区社協構成メンバーを中心に、地域活動に興味がある方など誰でも参加可能)



## 第1層協議体

行政、市社会福祉協議会、包括支援センター、社会福祉法人、地区社協役員、地縁組織役員、医師会、民間企業など、多くの意見を取り入れられるよう、今後協議していく

- ・第2層間との情報共有、第2層のバックアップ
- ・第1層構成団体内の情報共有、調整、横の連携
- ・市全体での資源開発、サービスの創出
- ・高齢者だけでなく、障がいのある方、子育て世帯など、様々な視点からの地域づくり

# 自立した生活を継続できるサービスの構築

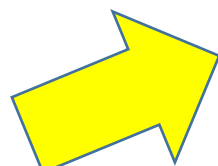
H27.4～介護予防・日常生活支援総合事業への移行

【本人の状態にあったサービスの提供】  
本人の能力を生かし、生活機能向上を支援



地域や人

自立支援



高

【廃用症候群からの脱却】

**集中介入期**  
・パワーアップ事業  
(通所型・訪問型)

【地域活動に参加できる  
体力づくり、機能向上】

**移行期**  
・元気はつらつ事業  
・ミニはつらつ事業  
・ホームヘルプ事業  
・ミニホームヘルプ  
・介護予防通所介護、訪問介護(H27～  
現行相当)

【地域の活動の  
場へ参加】

一般介護予防事業の  
充実、拡大

生活期

・にっこり事業  
・すごく元気になる教室  
・生きがい、シニア、ゆう  
遊、お達者クラブ  
・おしゃべりサロン  
・認知症カフェ  
・暮らしのサポートセン  
ター(寄り合いの場)  
・一般介護予防事業  
その他の社会参加

高

【元気度】

低

【介護予防の必要性】

# 今年度の対応と今後の取り組み

平成27年度

高齢者福祉課の新設  
介護保険係と高齢者支援係

包括支援センターと同室

充実分事業の開始

平成28年度

保健師、管理栄養士、PT、OTの確保

高齢者福祉課の体制充実(要求)

暮らしのサポートセンター組織化

竹田市地方創生TOP戦略の具体的施策と重要業績評価指標(KPI)設定による事業の実施

ご清聴ありがとうございました